

かなざわちゅうおう

# 金沢中央地区 (二期)

(石川県金沢市)

- 計 画 期 間 平成 21 年度～平成 25 年度
- 面 積 860 h a
- 交付対象事業費 7,884.5 百万円
- 市人口 447,209 人

**ポイント** 北陸新幹線開業を見据え、まちなかの定住と交流を促進し、魅力あるまちづくりを推進。

**地区概要** 道路修景や無電柱化整備などの基幹事業により金沢らしい伝統景観の保全に努め、安全安心なまちづくりによりまちに人を呼び込み、中心市街地の活性化を図る。

**目 標** 誰もが暮らしやすい中心市街地、にぎわいと交流が生まれる中心市街地、過度に自動車に依存しない中心市街地を目指す。

## 指 標

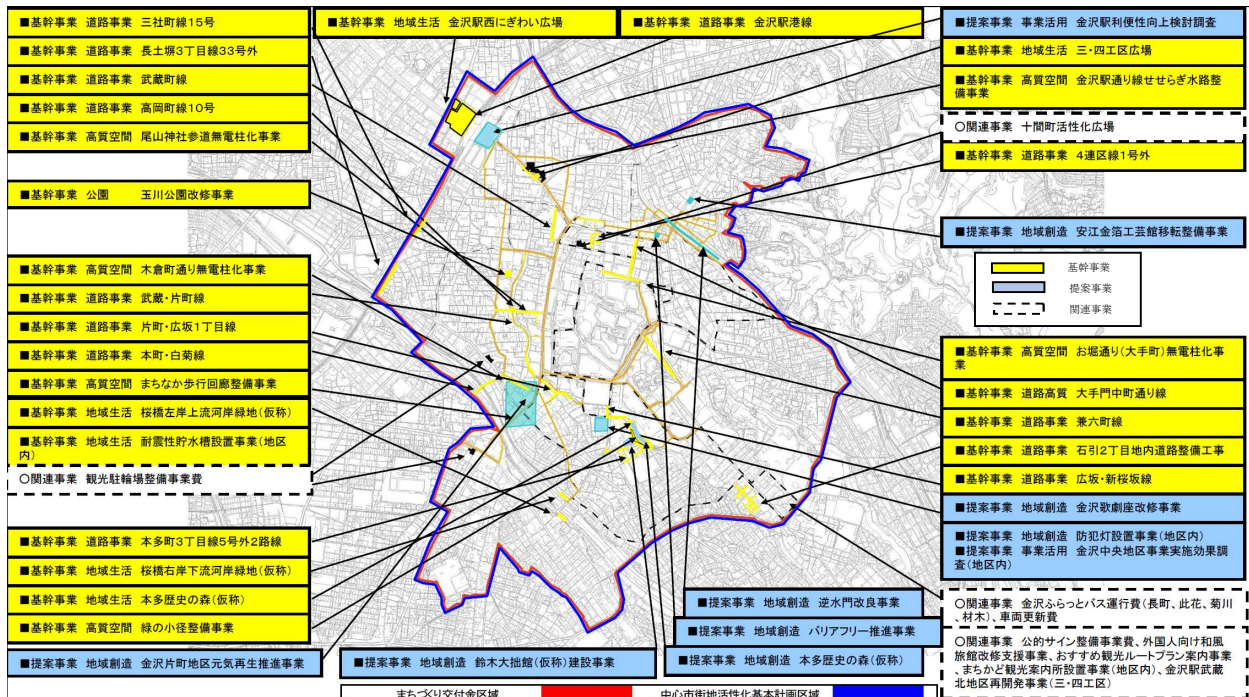
定住と交流の促進結果を測る指標として、社会動態（定住）、歩行者通行量の下げ止まり、駅利用者数の現状維持（交流）などを設定した。

重点整備地区社会動態	平均△5 人/年(H17～19)→0 人/年(H25)
歩行者通行量	休日 59,999 人/日(H19) → 休日 60,000 人/日(H25)
金沢駅利用者数	3,727,370 人/年(H15～19)→3,728,000 人/年(H25)
ふらっとバス利用者	685,439 人/年(H17～19)→700,000 人/年(H25)

## 事業内容

基幹事業(5,299.6 百万円)→道路(幅員 3m～11m、延長 4,094m)、公園(1か所 5,697 m<sup>2</sup>)、緑地(3か所 3,081 m<sup>2</sup>)、広場(2か所 2,630 m<sup>2</sup>)、耐震性貯水槽(4基)、せせらぎ(延長 110m)、電線類地中化(延長 1,150m)、遊歩道(延長 93m)、照明施設、歩行支援施設

提案事業(2,584.9 百万円)→安江金箔工芸館移転整備、金沢歌劇座改修、防犯灯設置、鈴木大拙館整備、本多歴史の森整備(斜面緑地)、バリアフリー推進事業、逆水門改良事業、金沢駅利便性向上検討調査、金沢中央地区事業実施効果調査



- 基幹事業 道路事業 三社町線15号
- 基幹事業 道路事業 長土堀3丁目線33号外
- 基幹事業 道路事業 武蔵町線
- 基幹事業 道路事業 高岡町線10号
- 基幹事業 高質空間 尾山神社参道無電柱化事業
- 基幹事業 公園 玉川公園改修事業
- 基幹事業 高質空間 木倉町通り無電柱化事業
- 基幹事業 道路事業 武蔵・片町線
- 基幹事業 道路事業 片町・広坂1丁目線
- 基幹事業 道路事業 本町・白菊線
- 基幹事業 高質空間 まちなか歩行回廊整備事業
- 基幹事業 地域生活 桜橋左岸上流河岸緑地(仮称)
- 基幹事業 地域生活 耐震性貯水槽設置事業(地区内)
- 関連事業 観光駐輪場整備事業費
- 基幹事業 道路事業 本多町3丁目線5号外2路線
- 基幹事業 地域生活 桜橋左岸下流河岸緑地(仮称)
- 基幹事業 地域生活 本多歴史の森(仮称)
- 基幹事業 高質空間 緑の小径整備事業
- 提案事業 地域創造 金沢片町地区元気再生推進事業

- 基幹事業 地域生活 金沢駅西にぎわい広場
- 基幹事業 道路事業 金沢駅港線
- 提案事業 地域創造 安江金箔工芸館移転整備事業
- 提案事業 地域創造 逆水門改良事業
- 提案事業 地域創造 バリアフリー推進事業
- 提案事業 地域創造 鈴木大拙館(仮称)建設事業
- 提案事業 地域創造 本多歴史の森(仮称)

- 提案事業 事業活用 金沢駅利便性向上検討調査
- 基幹事業 地域生活 三・四工区広場
- 基幹事業 高質空間 金沢駅通り線せせらぎ水路整備事業
- 関連事業 十間町活性化広場
- 基幹事業 道路事業 4連区線1号外
- 提案事業 事業活用 安江金箔工芸館移転整備事業
- 基幹事業 高質空間 おん通り(大手町)無電柱化事業
- 基幹事業 道路高質 大手門中町通り線
- 基幹事業 道路事業 兼六町線
- 基幹事業 道路事業 石引2丁目地内道路整備工事
- 基幹事業 道路事業 広坂・新桜坂線
- 提案事業 地域創造 金沢歌劇座改修事業
- 提案事業 地域創造 防犯灯設置事業(地区内)
- 提案事業 事業活用 金沢中央地区事業実施効果調査(地区内)
- 関連事業 金沢ふらっとバス運行費(長町、此花、菊川、材木)、車両更新費
- 関連事業 公的サイン整備事業費、外国人向け和風旅館改修支援事業、おすすめ観光ルートプラン案内事業、まちなか観光案内所設置事業(地区内)、金沢駅武蔵北地区再開発事業(三・四工区)

## 地区の現況と課題

金沢城址を中心とした藩政期の城下町の区域であるとともに、市内交通の要衝にあり小売業を中心とした本市最大の商業集積地を形成し、業務・居住機能や公益施設等も集積している地区である。しかし、昨今、郊外部への大型店舗の進出や都心部の交通渋滞、さらに人口のドーナツ化現象に伴い、都心部の空洞化が進行し、まちなか定住人口の減少や商店数・事業所数の減少など都心活力が低下しつつあり、1期都市再生整備計画において各種事業を実施したが、依然として地区内人口減少の下げ止まり及び歩行者通行量減少の下げ止まりが解消していないことから、まちの魅力向上やまちなかの回遊性向上に寄与する各種事業を継続して展開する必要がある。



金沢市中心市街地

## 提案事業の特徴

### 安江金箔工芸館移転整備

現在の安江金箔工芸館が老朽化したことや将来、建替えや耐震工事が必要になること、また、近隣でのマンション建設等により、周辺環境が大きく変わってきたことなどから、金箔ゆかりの地である東山地区へ当該施設を移転整備した。



安江金箔工芸館

### 金沢歌劇座改修整備

金沢歌劇座の舞台機能の向上を図るため、舞台上部の梁撤去・補強及びこれに伴う舞台機能・照明の改修を行うとともに屋上防水工事をを行い、また旧中央公民館棟を楽屋等に内部改修し、渡り廊下でつなぎ、芸術文化の拠点として一体的な利用ができるよう整備した。



金沢歌劇座

## 計画策定プロセス

本計画の上位計画として中心市街地活性化基本計画が策定されているが、それは以下のプロセスを踏まえている。

### 実施事業の進捗状況の把握

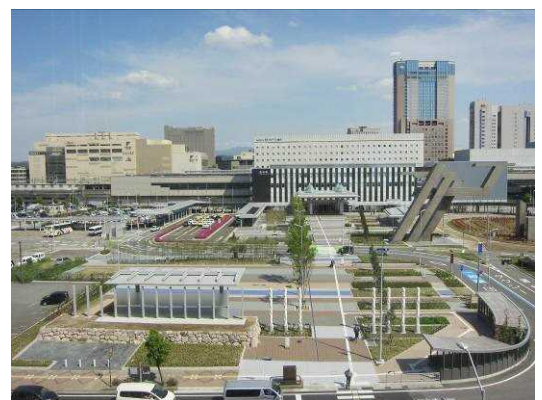
統計資料の分析により前回の基本計画（5年間）における事業の成果を集計し、効果を検証した。

### 市民アンケートの実施

前回基本計画の市民評価や今後の中心市街地に必要な要素、まちづくりへの参加意識などの調査を行った。

### 金沢市市街地活性化推進委員会による審議

経済界、商業者、学識経験者、市民等で構成された委員会によりアンケート結果や前回計画の成果を審議し、その策定課程を公開することによりパブリックコメントの導入を図りながら、新たな基本計画を策定した。



金沢駅西広場